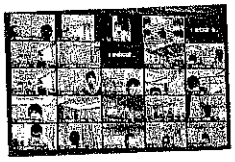
JRC部 ～今年度の活動～

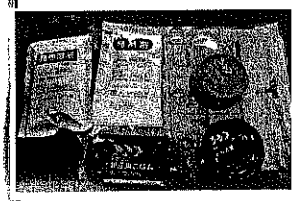
総文祭

他の学校のJRC部とオンラインで話し合いをしました。コロナ禍でのJRC部の活動内容を話しました。各学校で実施している活動は、消毒、換気、手洗いうがいの徹底などがありました。また今後どのような活動をしていきたいかを考え、まとめたり他校の人たちと、赤十字と青少年赤十字についてを学びました。JRCでの経験に助けられたことのお話を聞きました。とても印象的なお話しでした。



非常食体験

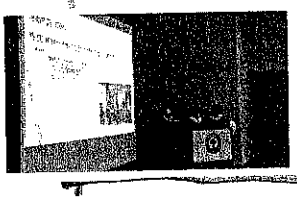
災害食体験では、実際に自分たちで災害食を作りました。火を使わなくてもお湯を沸かせたり、災害の時にはすごく役立つなと思いました。



実際に体験してみて、知らなかった事など学ぶ事ができて良かったです。災害時に、上手く活用できたら良いなと思いました。

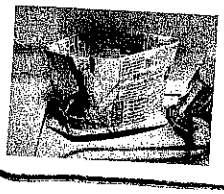
ワークショップ発表会

昨年十二月十一日土曜日に群馬県社会福祉総合センターにて開催されました。ワークショップ発表会の趣旨としては、青少年赤十字活動をより活発にするために必要な知識を習得すると共に今後の活動の拡充及び、メンバー間の親睦を図るというものでした。実際に参加した人たちの高校との意見交流が出来たり、赤十字についての学びを深めたりすることが出来てとても実りある時間を過ごすことができました。



トレーニングプログラム

最初の実技の時に、「災害が起こった時にあなたが支援できる人」についてしました。一番に残ったのはペーパーバッグ作りです。誰でも簡単に、新聞紙を使ってゴミ箱を作ることができました。二つ目の実技は「けがの手当て」についてです。止血やけがの手当などを、スカーフやハンカチ、レジ袋などの身近なものを使ってできる方法を学べました。とても役立つ経験でした。



オンライン語り部ライブ

語り部ライブ

東日本大震災の被害にあった方がリモートでどんなことがあったとか色々な話を聞きました。私は、語り部さんの気持ちとかを考えながら聞いていたらとても辛くて、悲しい気持ちになってしまい涙もたくさんでてきました。でも、話を聞いていてもし自分も同じ状況になったら語り部さんの話を思い出して、対処できたらいいなと思いました。

コロナ学習会

新型コロナウイルスには、「三つの感染症」という顔がある。第一は、病気そのもの、第二は、不安と恐れ、そして第三は、嫌悪・偏見・差別である。未知なウイルスでわからないことが多いため不安が生まれる。すると、人間の生きようとする本能により、ウイルス感染に関わる人を遠ざけようと、差別が生まれる。差別を受けることを恐れ熱や咳があっても受診をためらい、結果として、病気の拡散を招く。このような負のスパイラルで感染症が広がってしまうのである。